

YOSANO

広報よさの

No.229

3
2025

- 今月の表紙
雪に覆われる岩滝のまち (大内峠一字観公園から撮影)
- 主な記事
06 【シリーズ】多様な主体による協働のまちづくり
08 まなびだより — 6公民館の活動報告 —
15 広報アンケート



スポーツ・芸術で輝く小・中学生たち

人権啓発ポスターコンクール
京都府町村会長賞 受賞

つばい こうき
坪井 宏樹さん (市場小2年)



京都府町村会長賞を受賞した坪井さんの作品

坪井宏樹さんが、令和6年度人権啓発ポスターコンクール(京都府人権啓発推進会議主催)において、応募総数3,409点の中から12賞の一つ「京都府町村会長賞」を受賞されました。



絵を描くことが大好きな坪井さん。好きな友だちの顔を思い浮かべながら描いた作品が選出されたときの気持ちを「家族全員が喜んでくれたので、うれしかった」と、笑顔で教えてくれました。

第29回全国少年少女選抜レスリング選手権大会
女子の部(6年生) 出場

1/25・26 植村記念加賀スポーツセンター(東京都)

もり なのん
森 菜音さん (岩滝小6年)

小学4年生から京都海洋レスリング教室(府立海洋高校内)で練習を重ねている森さん。「勝ち負けのある競技にチャレンジしたかった」とレスリングを始めたきっかけを話します。

昨年の大会でベスト8に入り、手にした選抜大会出場。「一つでも多く勝つ」を目標に挑む

も、本大会で優勝を果たした選手と対戦し初戦敗退となりましたが、指導者の織田康博さんは「とにかく負けん気が強く飲み込みが早い。将来が楽しみ」と森さんに期待を寄せます。



今後は「大会で一つでも多く勝てるように、タックルから相手の背後を取る動きに磨きをかけたい」と目標を話してくれました。

JFA 第30回全日本U-15 フットサル選手権大会
出場 1/11~13 日環アリーナ栃木(栃木県)

たなか しん
田中 榛さん (江陽中3年)

小学校4年生からサッカーを始め、中学校では福知山ジュニアユースクラブに入り、キーパーとして活躍する田中さん。選手権大会の出場に向け、3年生29人から10人の選抜メンバーに選ばれ、昨年の京都府大会で優勝。続く関西大会では代表決定戦で逆転勝ちを収め、全国出場を手に入れました。優勝をめざし挑んだ1

次リーグ。強豪チームに善戦するも1勝2分前で、惜しくも決勝リーグに進むことができず「目標に届かず悔しかった」と大会を振り返ります。



中学校では陸上部に所属し、昨年の近畿大会では円盤投で6位入賞を果たした田中さん。高校では「円盤投に集中し、インターハイ出場をめざします」と力強く目標を話してくれました。

まちの話題をお届けします

● 知事の特別授業

知事から教わる丹後の魅力



生徒たちに京都府の取り組みを説明する西脇知事

12/16 宮津天橋高校加悦谷学舎において、西脇京都府知事が高校生に伝えたいことや期待することなどを語りながら意見交換する「知事の特別授業」が行われました。

本事業は京都府の「地域課題プロジェクト(丹後版)」の一環で行われたもので、加悦谷学舎の2、3年生28人が参加。知事が「丹後のポテンシャル」をテーマに織物や農業、観光、公

共交通について魅力や課題を説明した後、高校生らは「将来は管理栄養士をめざす」「子育て支援の充実」など将来の夢や希望、丹後地域に望むことなどについて、知事と活発に意見交換を行いました。

特別授業に参加した生徒は「貴重な時間を過ごすことができた」「丹後地域の魅力や可能性を知った。丹後に住む私たちが生活の中で、その魅力に気づいていける地域になってほしい」などと感想を話してくれました。



西脇知事に質問をする生徒

● 天橋芸術祭 2024

芸術活動などの成果を発表



加悦谷学舎茶道部による呈茶の様子(2月9日)

2/7 宮津天橋高校の宮津・加悦谷両学舎の芸術活動などの成果を展示・発表する「天橋芸術祭 2024」が、宮津市民体育館において3日間にわたり開催されました。

昨年に続いて開催された芸術祭。会場内では生徒たちが制作したBGMが流れる中、授業の成果のほか、書道部・美術部・写真部の全国や近畿大会への出展作品、京都府総合文化祭で最優秀賞に輝いた大作などが展示され、作品や発表を楽しむ来場者の姿が見られました。

● みょうが祭

今年は「早稲」が豊作



須代神社内の御神田を清める宮司と参拝者

2/11 みょうがの発芽具合で今年の稲作の豊凶を占う「みょうが祭」が、須代神社(明石)で営まれました。

明治30年ごろから続く伝統のお祭り。綾部市の阿須々岐神社からみょうがの根を譲り受け、須代神社内の御神田に植え、占いを行うようになったのが始まりと言われています。御神田は「早稲・中稲・晩稲」に仕切られており、今年は早稲の発芽がよく、参拝者らは御神田に手を合わせ、実りの秋を祈願していました。

全国学力・学習状況調査を踏まえて

令和6年4月に実施した「全国学力・学習状況調査」は、小学校は国語と算数の2教科、中学校は国語と数学の2教科で実施しました。地域の皆さまに与謝野町・組合の子どもたちの現状を理解していただき、学校・家庭・地域が一体となって、子どもたちの健全な育成を図ってまいります。

図 学校教育課 ☎43・9025

学力調査結果より

調査結果では、小学校は国語と算数とも全国平均正答率を下回る結果となりました。中学校においても、国語と数学とも全国平均正答率を下回る結果となりました。与謝野町・組合の学力状況としては改善を図る必要があります。

主な教科の課題としては、国語は正しく「読むこと」「書くこと」など、各教科の基礎となる力を身に付けることが挙げられます。算数・数学では、問題の意味を読み取ってイメージしたり、数学的に解釈して説明したりする力を身に

(表1) 令和6年度全国学力・学習状況調査結果(正答率)

小学校(6年生)	国語	算数
全国	67.7%	63.4%
与謝野町	60.0%	62.0%
中学校(3年生)	国語	数学
全国	58.1%	52.5%
与謝野町・組合	55.0%	48.0%

※ 与謝野町・組合・・・加悦中学校、江陽中学校、与謝野町宮津市中学校組合立橋立中学校の3校

付けることが挙げられます。また、あきらめないで粘り強く取り組むことや筋道を立てて考えることも課題と考えられます。

主体的に学ぶ力をはぐくむために

1 生きる力をはぐくむ学級づくり

学習指導要領では生きる力をはぐくむために、3つの資質・能力を育てていくこととしています。

- 実際の社会生活で生きて働く知識・技能
- 未知の状況に対応できる思考力・判断力・表現力
- 学んだことを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力や人間性

教科調査で見られた課題を改善するためにも、これらの力を付ける必要があります。

そのため、各校では学力調査結果などの分析を踏まえ自校の課題や改善点を明らかにし、授業研究や研修会などを通して、一人ひとりの課題などに応じた学習指導が



タブレットを使って学習する生徒たち▶

よさを生かして解決方法を決めているか」の問いでは、小学6年・中学3年とも84・4% (全国小学校83・2%、全国中学校86・3%) が肯定的な回答をしています。

2 授業改善と効果的なICT活用

児童・生徒に一人1台のタブレット端末を整備して4年目となりますが、ICT(情報通信技術)を活用しながら児童・生徒の主体性を引き出し、自ら学ぶ力を高める授業に向けて授業改善が進みつつあります。「パソコン・タブレットなどを活用すると、友だちと考えを共有したり比べたりしやすくなる」の問いでは、小学6年で89・9% (全国86・1%、中学3年で91・1% (全国86・2%)) が肯定的な回答をしています。児童・生徒が学習活動において、タブレットを用いること

の有用性を実感しながら、友だちの考えを自分の学びに生かそうとしていることが伺えます。

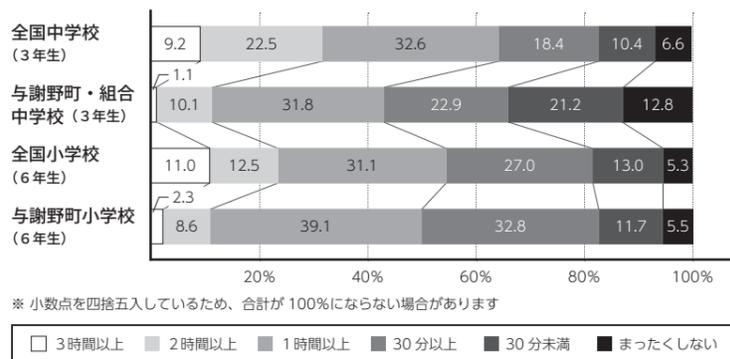
また、「動画や音声などを活用することで、学習内容がよく分かるようになった」「自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる」と答えている児童・生徒も多く見られます。タブレットを使うことが特別なことではなく、学びを進めるための一つの「道具」として、児童・生徒自身が活用場面や方法を選択しながら学ぶ姿も増えてきました。各学校が地域の特色を生かしながら、「どんな子どもたちを育てていきたいか」ということを大切にして、これまでの授業の在り方を変えていくために、指導方法やICT活用の工夫に取り組んでいる成果の表れと捉えています。

今後、さらに課題解決に向けた授業改善を具体的に進め、児童・生徒が主体的な学び手として育っていくことをめざしていきます。

3 自分に合った学習方法や基本的な生活習慣の確立を

家庭学習の時間は、30分未満が

(表2) 小・中学校の家庭学習状況



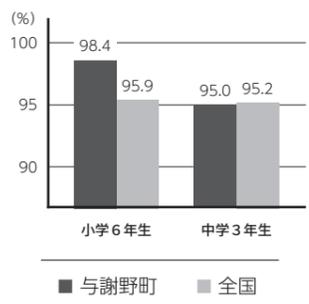
小学6年で17・2%、中学3年で34・0%という状況です(表2参照)。家庭学習では宿題だけでなく自分のやりたいことを見つけ、興味をもって自主的に学習する習慣を身に付けていくことが、将来に向けての大きな力となります。子どもたちがよりよい生活習慣や学習習慣を身に付けられるよう、学校・家庭・地域で一層連携・協力する必要があります。

4 保育所・こども園・小中学校で連続した学びの充実

幼児期にはぐくまれる生活習慣や好奇心、社会性などの非認知能力は、学童期以降の学ぶ力の土台となります。保育所・こども園・小中学校教員の合同研修会などを行い、学びの芽をはぐくむ幼児教育との連携を大事に進めています。また、子どもたちの様子や保育・教育の指導方法などを互いに交流し、子どもの学びの連続性を重視した授業になるよう、中学校区での保育所・こども園・小中連携を進めています。

子どもたちが将来、社会の中で自立し、夢をもって自分らしく幸せに生きていくために、今後も取り組みを推進していきます。

(表3) 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。



— 多様な主体による協働のまちづくり —

わたしたちの 身近な暮らしにある 「助け合い、支え合い」



消火器を使った防災訓練 (写真:加悦奥区提供)



よさの乗合交通

住み慣れた地域が「いつまでも暮らしやすく、これからも住み続けたい」と、みんなが感じられる地域社会をめざし取り組まれてきた事例を、3回シリーズで紹介しています。シリーズ3回目(最終回)となる今回は、地域課題の解決に向けて、多様な主体と行政の協働による事業事例をピックアップしました。

※ 前回は広報よさの12月号(No.226)に掲載しています

企画財政課 ☎ 43-9015

事例 1

地域の中に 子どもたちの 居場所を

キッズステーション



キッズステーションを利用する子どもたち (写真:幾地区提供)

与

謝野町では、地域のすべての子どもを対象とした居場所、遊び場、地域住民との触れ合いの場となる拠点づくりを支援し、地域ぐるみの子育てを応援しています。

現在、7つのキッズステーションがあり、自治会や社会福祉法人、地域活動団体などにより運営されています。下校後の子どもたちの見守り事業や学校の長期休暇中のゆるやかな学童保育事業、森遊びや川遊びといった体験型事業など、子どもたちにとっても、地域の大人たちにとっても、身近な場所であれあい、つながる機会になっています。

令和2年度からスタートした

キッズステーション事業は、令和5年度までで延べ約8000人の子どもたちの利用がありました。子どもたちは、地域のさまざまな方々とのかわりの中で育ちます。地域の子ども同士が交流する、地域の大人たちが子どもたちを見守る場所がある、そして、顔が見える関係の地域になる。子育てするならこのまちで——。安心して子どもを生育てられるまちを、地域・住民の皆さんとの協働でめざしています。

事例 2

地域の 暮らしを守る

加悦地域支え合い 交通運営協議会



よさの乗合交通に乗車する利用者

与

謝野町では、バスの運転士不足や高齢化、人口減少に伴い、公共交通の維持が大きな課題となっています。

そういった中、バス路線から離れた地域に住む方々の移動手段を確保するため、桑飼地区では地域住民主体の「桑飼地区支え合い交通運営協議会」が誕生し、令和5年10月に桑飼地区内で「よさの乗合交通(以下、乗合交通)」の実証運行をスタート。さらに、6年10月からは加悦地域全域にエリアを拡大し、「加悦地域支え合い交通運営協議会(以下、協議会)」として、本格運行を開始しています。

「住民の皆さんの買い物や通院

など、お出かけのための移動手段をどうするかが課題でした。誰もが安心して暮らし続けられる地域づくりをめざして、地域で何とかしていこうという思いで協議会を立ち上げ、運行しています。加悦地域の皆さんの暮らしの支えになれば」と話すのは、協議会会長の西村良久さん。

加悦・与謝・桑飼地域の各エリアから登録されたドライバーは、現在11人。顔が見える安心で便利な乗合交通を、ぜひご利用ください。

事例 3

命を守る 助け合い

いつもの取り組みで もしもに備える

日

本は地震や台風などによる大雨・洪水、土砂災害といった自然災害が頻発する国です。丹後地方においても、昭和2年の北丹後地震や平成16年の台風23号、平成30年の7月豪雨など、大きな災害を経験してきました。

今年で30年が経過した阪神淡路大震災(平成7年)や東日本大震災(平成23年)、令和6年

元日の能登半島地震などの災害では、公的な救助が届く前に、地域住民同士の助け合いが命を救った事例が数多く報告されています。

与謝野町では、毎年、地震や風水害を想定した防災訓練、防災への意識を高めてもらう防災フェアを実施。また、地域では自治会や自主防災組織による独自訓練や防災マップの作成、水出し訓練など、住民同士で防災意識を共有する取り組みが行われています。このような防災の取り組みは、日ごろからの自治会や地域の活動が近所・隣組、地区単位での情報共有の場となり、顔が見え助け合う体制づくりにつながっています。

北丹後地震の発生から今年で98年。「助け合いが命を守る」という意識を持ち、いつもの取り組みがもしもの備えになる「自助・共助」の力を高めていきましょう。

むすびに

3回にわたり紹介してきたさまざまな協働の事例は、町ホームページ「地域情報ページ」にも掲載しています。誰かの『困りごと』は、地域の『ほっとけない』

ことかもしれません。「誰かがやっている」まちづくりから「わたし(たち)にもできる」まちづくりへ。一人ひとりの「志」や「能力」を引き出し、つないで協働するパートナーシップで「住民が主人公となるまち」をめざしましょう。



町ホームページ



防災クッキング教室でポリ袋を使って調理する子どもたち

まなびだより

共に学び支え合う コミュニティの実現に向けた 公民館活動をめざして

～ 6 公民館の活動報告 ～

☎ 社会教育課 ☎ 43-9026

重要性を増す 公民館の役割

新 型コロナウイル

ス感染症の第5類移行後、町内各地区の創意工夫と努力によって、どの公民館も日々地域の皆さまが「つどろ」「まなぶ」「結ぶ」こととなるよう、地域の特色に合ったさまざまな取り組みが進んでいきます。

また、人生100年時代。生涯にわたって継続的に学び続け、多様な学習機会を通じて自己の成長につながるように、学びを通して地域の方々が協力し合える関係づくりの一助へとなるような公民館活動をめざして取り組んでいます。

一方、令和6年度は野田川・岩滝地域、7

《はじめに》

年度の橋立中学校をもって、町内のすべての小・中学校に「コミュニティ・スクール（学校運営協議会）」が設置され、地域協働活動と連携して子どもたちのための活動を展開します。この取り組みは、地域に愛着と誇りを持てる学習の場であるとともに地域の活性化にもつながるものであり、公民館の役割はますます重要です。こうしたさまざまな活動を通して、学校・家庭・地域が深く結びつき、共に学び支え合えるよりよい地域コミュニティを築いていければと思います。

加悦地域公民館
館長 山形芳弘



新調した香河地区内の案内看板
(香河公民館)



見直そうふるしき講座の様子
(知遊館)



夏休み子供教室の様子
(上山田公民館)

岩滝地域 公民館

多彩な事業で、子どもも 大人も笑顔で元気に！

滝地域公民館（知遊館）では公民館事業として、「水彩スケッチやストレッチなどの「高齢者教室」、児童対象の「パステル絵画や茶道などの「土曜講座」、夏休みの宿題お助け講座や陶芸

などの「夏休み体験教室」を行いました。今年度は新しく「防災クッキング教室」を防災ママサークル「ままもりっこ」さんに依頼して開催。令和6年元日に能登半島地震が起きたこともあり、受付開始すぐに満員となりました。災害時を具体的に想像し、トイレや水、灯りなどの準備と工夫を話し合いました。また、災害時にも使用可能なカセットコンロで、ポリ袋に材料を入れてゆでるだけの蒸しパン作りをしました。ポリ袋調理のため洗い物はなく衛生的な上、おもしろいと歓声が上がっていました。

生涯学習事業では「一般講座」としてコースやつまみ細工、ヨガ、己書などの9講座を開講。子どもの講座と同様、防災にも着目した「見直そうふるしき」の講座では、さまざまなふるしきの包み方や結び方から、ふるしきの良さを再確認。災害時は三角巾にしたり、頭巾にしたりする活用方法も

中央 公民館

楽しかった土曜講座

中央公民館では、子どもたちを対象とした事業に「年間を通して行う講座」、単発的な講座の「土曜講座」、夏休みの宿題にかかわる内容を中心とした「夏休み講座」に分けています。今回は、土曜講座の「折り紙教室」「スイーツ作り」を紹介します。折り紙教室は、以前、全学年一緒に「折り紙クラブ」として年間

学び、参加者からは「ぜひ活用したい」「またしてほしい」とありました。知遊館の大きな事業として、人権啓発ユニット事業の映画会、ミュージックフェスタ、クリスマス音楽会、ぎやらしい知遊館での展示を行いました。クリスマス音楽会では、以前から要望のあったジャズコンサートを計画。舞鶴市出身で大阪を中心に活動されている

若手のすばらしいミュージシャンにお越しいただき、子どもさんから高齢の方まで体も心もノリノリの笑顔で盛り上がりました。今後も公民館・生涯学習センターとして、地域の方々の声に寄り添い、世の中の動きやトレンドにもアンテナを張り、大人も子どもも多様な学びと文化芸術を活発に体験できる場所であり続けたいと思います。

り、活気あふれる講座でした。しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大以降は、全学年を低・中・高学年別に変更し、単発的な講座として実施。令和6年10月に低学年（17人参加）を行い、ハロウィンに向けお化けやカボチャを折り、ハロウィンリースを作りました。同年11月には中学年（7人参加）を行い、クリスマスに向けサ

を通して6回シリーズで行い、毎年20人以上の参加があ



クリスマスケーキを作る子どもたち

ンタクロースやツリーを折り、クリスマスリースを作りました。同年12月には高学年（7人参加）を行い、お正月に向けた干支の「巳」や富士山を折り、色紙に貼り付けたお正月飾りを作りました。今年も参加者が多く、人気の講座となりました。

スイーツ作りは5年ぶりに再開。食生活改善推進員協議会野田川支部の皆さんを講師として、グループごとに指導していただきました。今年度も多くの講座を開く中、快く講師を引き受けていただきました地域の皆さま、本当にありがとうございました。来年度も多くの講座を開催し、子どもたちの笑顔が見られることを願っています。地域の皆さま、今後ともご協力をお願いします。



子どもたちに好評だったサッカー教室

山田公民館の事業は、まだ公民館推進委員会も開いていない4月初旬の「さくら祭り」から始まります。以前は水戸谷峠で棧敷席を作ったの開催、その後は水戸谷交差点のそばの広場、今は中縄児童公園で場所を移しながら、長年続いていきます。寒い冬が終わりさくらが咲くのを区民の皆さんと楽しみ、交流・親交を深めていただ

交流麻雀大会も長く続いており、若い方から壮年、高齢者まで一緒に楽しみます。この大会は20年以上続く人気講座で、毎回、大盛り上がりです。下山田公民館との共同開催で、山田小学校の卒業生の荻野賢次郎さんを講師に迎え「サッカー教室」を開催。ドリブルやシュートなど、プロの技を体感し練習の仕方も教えてもらいました。子どもたちからは「よかった」「またやってほしい」と好評でした。また、公民館で勉強してもらえようという「夏休み子供教室」を開催。最終日には婦人会による絵本の読み聞かせ会があるなど、子どもたちが公民館を身近に感じ、気楽に集ってもらえればと思っています。

くことが目的です。また、2月に開催している「世代間

上山田公民館 笑顔で楽しく集いあう

上

山田公民館の事業は、まだ公民館推進委員会も開いていない4月初旬の「さくら祭り」から始まります。

人口も減って行く中、以前と同じには戻れません。流しそうめんもお椀のそうめんになりました。

工夫をし知恵を出し合い、皆さんが笑顔で楽しく集いあう公民館をめざします。

香河公民館

楽しく気持ちよく暮らせる香河で

香河公民館事業として、年2回区民みんなでの環境美化運動を行っています。

民が気持ちよく暮らせるとともに、区外から来られた方にも良い印象となる地域づくりを行っています。とくに6月の溝掃除の後には、みんなでコスモスの種まきをして、秋にはきれいな花を楽しんでいます。昨年の夏は猛暑のためか、花の咲き具合は例年に比べて少なかつたように思えました。また、看板などの整備活動として、薄くなって見えなくなっていた公民館の看板を書き直すとともに、道路の分岐点にある各地区への案内看板3カ所を新調しております。



交流会に向けてみんなで調理している様子

香河区内には、加悦ファーマーズライスというお寿司を作っている工場が立地しています。令和5年

4月には溝掃除、6月と9月には草刈りを実施して区

からベトナム出身の実習生6人が勤められており、香河区内に住まわれています。異文化の交流事業として、区民と顔なじみになるように、区役員や民生委員さんなどで歓迎交流会を計画。交流会ではベトナムの有名な「ブンチャー」という料理を作ったいただき、香河区ではお好み焼きを準備して、食事しながら交流を深めました。通常の会話は可能ですが通じない場合は、「伝えよう」「聞き取ろう」と、それぞれの思いが通じ本当に

楽しい交流会になりました。友愛訪問としては、年越しそばと加悦ファーマーズライス様から提供いただいた焼鯖寿司を公民館事業の協力員である組長さんにお渡しし、区からのメッセージとともに全戸を訪問して配布いただきました。そのほかにも、神戸ポータワーへの視察、文化祭などを行うなど、少ない人数の香河区ですが、区民の方に楽しんでいただけるような事業を今後とも実施していきたいと考えています。

加悦地域公民館

地域と連携してつながりの輪を

加悦地域公民館では、一般講座として「ヨガ講座」「寄せ植え体験」「秋の音楽会」、土曜支援講座として「けん玉教室」「夏休み学習教室」「冬休み学習教室」「電気出前教室」「自然体験」「木工教室」、そして「高齢者教室」と事業を進めてきました。その中

和6年12月に開催した「高齢者教室」を紹介します。どちらの事業も加悦地域公民館単独の事業ではなく、平成のころから継続している息の長い事業です。自然体験は民生児童委員協議会加悦支部との共催、高齢者教室は加悦老人クラブ連合会との共催

で、夏季休業中の小学生を対象とした「自然体験」と令

あなたの手元に直接情報をお届けします

与謝野町公式LINE

2,300人を超える方に友だち追加いただいている「与謝野町公式LINEアカウント」。今後も公式LINEをとおして町政情報やイベントなどの情報を発信していきますので、皆さんの「友だち追加」をお待ちしています。



Point

1 必ず「受信設定」で欲しい情報を設定してください



リッチメニュー

受信設定をすることで、欲しい情報だけをLINEで受け取ることができます。各リッチメニューにある「受信設定」から設定でき、「ごみ収集日」や「子育て情報」専用の受信設定もあります。
※ 緊急時の防災情報などは、受信設定にかかわらず配信する場合があります

受信設定をタップ

ごみ収集日のお知らせ

お住いの地区を登録いただくと、収集日の前日または当日に通知が届きます。

Point

2 ごみの分別方法が調べられる

「メッセージ入力(①)」欄にごみの名称を入力すると、自動で分別方法を応答します。

※ 登録していないごみ、キーワードに合致しない場合は、分別方法の応答ができません



Point

3 欲しい情報に応じた3つのリッチメニュー

「基本設定/①」「子育て世代向け/②」「事業者向け/③」の欲しい情報によって、メニューデザインが3つに変わります。

- ①「暮らし」「防災・危機管理」「広報PR」
- ②「暮らし」「子育て」「防災・危機管理」
- ③「暮らし」「事業者向け」「広報PR」

与謝野町公式LINEアカウントの「友だち登録」は、次の2のステップで!

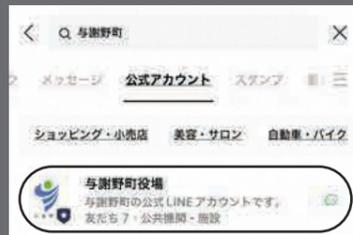
二次元コードで登録

右の二次元コードを読み取り、「追加」ボタンをタップして登録。



アプリ内の検索で登録

LINEアプリ内で「与謝野町」と検索し、「与謝野町役場」を選び、「追加」ボタンをタップして登録。



問い合わせ先 / 総務課 ☎ 43-9010

●まなびだより

で行っており、地域の団体と連携しながら子どもたちや高齢者の方々の学習の場、つながりを深める場として開催しています。
自然体験は、小学1年生から6年生まで23人が参加しました。加悦双峰公園に行くため、午前8時20分に加悦地域公民館を出発し、あつえ彩菜館、滝公民館で合流。植物の先生から山に登りながら植物について教わったり、パラコードづくりやロープワーク、集団ゲームなど、普段ではできない体験をすることができました。また、チームづくりや指導者としてお世話になった大人の方々との交流を通して、笑顔あふれる半日となりました。



植物に触れながら教わる子どもたち

ました。
高齢者教室は、健康・長寿であるために「知って得する薬の話」「エンディングノート」「楽しく歌いましょう」の3部構成で実施し、58人が参加。薬の話では、お薬手帳を携帯する大切さや服薬の時間はその薬が一番効くタイミング、かかりつけ薬局で処方してもらうことは自分の健康を守るためであることを再認識しました。エンディングノートは、自身に何かあったときに備えて家族や友人など大切な人に伝えておきたいことや、希望することなどを書き留めておくノートのことです。自身の人生の振り返りにもなり、今後の人生の備忘録としても活用できます。参加者は様式例をいただき、「日記程度に書いてみようかな」と、今後の人生を考えるきっかけとなりました。最後に、懐かしい歌をみんなで大きな声で手もたいて楽しく歌い、元気になって終了しました。
今後地域と連携しながら、地域のコミュニティを支えるため、加悦地域の方々をつなぐ取り組みを進めていきたいと思えます。



講師の萩原さん

男 山地区公民館での人権啓発の取り組みについて紹介します。
令和6年11月9日に「和尚さんの法話」と題して、文殊の天橋山智恩寺の住職の萩原一政さんを講師にお迎えし、法話を行っていただきました。智恩寺は通称「文殊堂」と呼ばれ、文殊菩薩をおまつりし、日本3大文殊の一つとして知られる聖地です。萩原さんは4年10月に晋山式を迎えられ、現

男山公民館
心の糧に
和尚さんの法話

積んでおられます。
【法話の主な内容】
① 智慧の5つの目「肉眼・天眼・慧眼・法眼・仏眼」
② 空は赤心(赤子の心)に立ち返る大切さ
③ 一如は周囲と自分の心の境を取り外せば、自分と世界は一つ
④ 慈悲は他者の苦しみを理解し共感と援助の意思を持つ、同じ漢字「差別」でも一般的には「さべつ」と読むが、仏教では「しゃべつ」と言い【みんな大事だが私とあなたは違う、区別ができる】という意味
以上4点について、例を上げながらわかりやすくお話しいただきました。最後に参加者に感想を求めたところ、「今日の法話は、来春大学生として親元を離れて迎える新生活の心の糧にしたいと思います」と、高校3年の女の子がみごとに幕を引いてくれました。

在は本山妙心寺の布教師として資格を得るなど、研鑽を

回答期限

4月11日(金)

より伝わる広報とは？ 広報アンケート

インターネットからも
回答できます！



SNS やインターネットによる情報取得の多様化や少子高齢化など、社会環境が変化している中で住民の皆さんが役場から発信する情報に何を求められているのか、また、どのように受け止めておられるかなどの現状を把握し、広報・広聴活動の課題を検証するため「広報アンケート」を実施しますので、ご協力をお願いします。

回答方法

- 対象者 与謝野町内の在住または在勤の方
- 回答方法 本アンケート用紙またはインターネット（上記の二次元コード読み取ってください）
- 提出方法 各庁舎窓口にて提出、郵送、ファックス、メール ※用紙の場合
- その他 回答はお1人1回まで

アンケート項目

Q1 性別

- 男性 女性 未回答

Q2 年代

- 10歳未満 10代 20代 30代 40代 50代
 60代 70代 80代以上

Q3 居住地

- 加悦地域 岩滝地域 野田川地域 町外（ ）

Q4 スマートフォン・タブレット・パソコンを使っていますか。

- 日常的に使用 持っているがあまり使用しない 持っていない

Q5 「Q4で日常的に使用している」と回答した方は、主にどんな用途に使っていますか。

- インターネット検索・情報収集 SNS・メール 動画・音楽視聴 通話が中心
 その他（ ）

与謝野町の情報発信

Q6 町政に関する情報をどのような方法で入手していますか。（上位3つまで回答）

- 広報よさの ホームページ 有線テレビ FM告知 SNS
 議会だより 新聞 窓口・電話での問い合わせ その他（ ）

Q7 町政について、特に知りたい情報は何か。（上位3つまで回答）

- 財政状況 公共施設 窓口届出・手続き 各種事業・計画 福祉・介護・健康
 出産・子育て 学校教育 文化・スポーツ・生涯学習 歴史・文化財 公共交通
 産業・雇用 入札・工事 環境・ごみ 防災・防犯 観光・イベント
 その他（ ）

与謝野町有線テレビ制作番組「サシばな」



明石地区内のお店で行なった収録（左から亀岡さん、尾藤さん、太田さん、山添町長）

与謝野町では、「食育推進計画の策定」「学校給食の充実」に取り組んでいます。これらの実現に向け、識見者として亀岡孝浩さんと尾藤環さん、生産者として太田桂史さんをお招きし、「健康・食育・給食」をテーマに山添町長と対談していただきました。今月号では、その一部を紹介します。

☎ 総務課 ☎ 43-9010

どういったものを子どもたちに食べさせたいか？



地 産地消よりも旬産旬消。旬の野菜は栄養価が一番高く、価格も抑えやすい。旬の野菜を給食センターに持ち込み一番おいしいものを提供しながら、子どもたちに栄養の話をする仕組みを。

亀岡 孝浩（信州大学 特認教授/与謝野町スマートグリーンビレッジ確立協議会 会長）

農

薬を極力少なく使った野菜を食べさせてあげたい。農薬が使っているから危険という理解ではなく、すべての農薬が悪ではないことを伝える食育を望む。

太田 桂史（株式会社アグリスト 代表取締役）



旬 なものを待ち遠しく思うのが食育。与謝野町は田園が広がり、稲穂を見ると収穫時期がわかる。まちの風景と文化・歴史の中で食育が行われ、ワクワクドキドキすることが大切。

尾藤 環（辻調理師専門学校 企画部長）

給

食においては、学校・家庭・地域の関係性の中で、ワクワクするような食事を子どもたちに提供していく仕組みを、どのようなものとして構築できるのかが大切な視点と考える。

山添 藤真（与謝野町長）

「健康×食育×給食」
ワクワクするような食事を
子どもたちに



番組の様子は、町公式 Youtube チャンネルでご覧いただけます（有線テレビは2月19日に放送済みです）

【告知】有線テレビ
制作番組「サシばな」

- テーマ 児童の発達障害について
- 放送日 3月19日（水）午後8時～





(上・右・左)
加悦小学校
5年生との
交流の様子



与謝野町内の最高学府である宮津天橋高校加悦谷学舎（以下、加悦谷学舎）と与謝野町と加悦谷学舎では、平成31年4月から「高校魅力化コーディネーター」を配置し、地域・社会とともにある魅力ある学校づくりを推進しています。「総合的な探究の時間」による地域との連携に加えて、近年では町内の小・中学校との交流がどんどん広がっています。

どんどん広がる！ 高校生との交流

初開催！ 小高英語交流事業

1月24日、加悦谷学舎において、「小高英語交流事業」が開催されました。本事業は、高校生が企画運営を担い、小学生に英語でコミュニケーションをとる楽しさを知ってもらうことを目的に、加悦谷学舎の3年生21人と加悦小学校の5年生43人がゲームを通じて交流しました。小学生たちは、高校生たちがこの日のために考案した「イラスト当てゲーム」「3ヒントゲーム」「フルーツバスケット」「ビンゴゲーム」「伝言ゲーム」の5つのブースをグループごとに回ってゲームを体験。最初こそ緊張した様子でしたが、高校生の明るい進行と積極的な声かけですぐに打ち解け、終始、笑顔が絶えない時間となりました。また、ゲーム内容も簡単な問題からだんだんと難しくしていくなど、進行上の工夫や入念な準備をしてきたことがよくわかる内容となりました。

今年度に入り、加悦谷学舎と保幼小中学校との交流が活発になっていきます。令和6年5月には、高校生による子育て支援イベント「かやだにまつり」が初開催されました。また、以前から実施している町内小学校とのスポーツ交流では、同一年度で初めて町内全小学校との交流が実現。さらに、これまでになく取り組みとして、加悦谷学舎3年生と加悦中学校1年生が探究的な学びを通

ともに育ち合える 機会の創出へ

小学生のアンケートには、「英語を高校生が優しく教えてくれた」「次は高校生が楽しんでもくれるようなことを考えたい」という感想が見られました。交流を終えた高校生たちは「準備期間は不安だったけど、小学生が楽しんでくれてこちらも楽しくなった」と、充実した表情を浮かべていました。

じた交流を実施しました。こうした交流はお互いにとって、多様な人とならる価値を学ぶ機会となります。

なお、第2期京都府教育振興プランの中に「教育にかかわるすべての者が大切にしたい想い」として、「包み込まれている感覚」という記載があります。本町としては、学校の先生や保護者、地域の大人に加えて、高校生も年下の子どもたちを包み込む存在としてかわかっていくことが、まちの教育の魅力向上につながるものと考え、今後保幼小中高の交流により、育ち合える機会の創出を推進していきます。



まちの魅力のPR動画作成を検討している中学生に、実践を通して得た知見を伝える高校生たち（加悦中学校）

与謝野町の広報活動全般

Q8 町政情報が伝わっていると感じていますか。

- 十分伝わっている 少し伝わっている あまり伝わっていない 伝わっていない

Q9 町政情報を取得するため、充実を希望する広報媒体はありますか。（上位3つまで回答）

- 広報よさの ホームページ 有線テレビ FM告知 議会だより
 フェイスブック ユーチューブ ツイッター インスタグラム ライン
 その他（ ）

Q10 町政に対し意見や要望を伝えたことはありますか。（複数回答）

- 町政懇談会・議会懇談会に参加 投書・メール 電話・窓口 各種委員会等に参画
 伝えたことはない その他（ ）

Q11 町政に対して意見や提言をするため、どのような機会があれば参加したいですか。

- 地域別に町長などと話す機会 団体・グループ単位で町長などと話す機会
 オンラインを活用 メール・町ホームページに問い合わせ 特に伝えたいと思わない
 その他（ ）

その他

Q12 まちづくりへの関心度を教えてください。

- 関心がある 少し関心がある あまり関心がない 関心がない

Q13 与謝野町の広報・広聴に関するご意見。（自由記述）

回答先・
問い合わせ先

総務課 秘書広報係

〒629-2292 与謝野町字岩滝 1798 番地 1

☎ 43-9010 ● ファクス 46-2851

● メール somu@town.yosano.lg.jp



過去のアンケート結果





便利なサービスが増えました

～ 図書館システムのバージョンアップ～

図書館をより便利に使っていただける機能が増えましたので、ぜひご利用ください。なお、機能の多くはインターネット利用登録が必要ですので、図書館に申し込みください。



新ホームページのトップ画面

より見やすく、便利に

- 機器に合わせてページを見やすく調整。
- パスワードの再発行がホームページからできます。

図書館からメールをお届け

- キーワード登録で、入荷時にお知らせ。
- 本の返却忘れを防ぐため、返却予定日前日の夜にお知らせ。

レシート印刷が可能に

- 図書館内の検索用端末から印刷できるようになり、読書手帳を手書きする手間が省けます。

スマホから本が借りられる

- 図書館カードの代わりに、スマホにバーコード表示で貸し出しできます。



スマートフォンのある暮らし

今や生活の必需品になってきたスマホにまつわる本を紹介します。

『スマホになじんでおられません』

群ようこ／文藝春秋



携帯電話さえ持たなかった彼女が、自宅で飼っている老猫のために使い始めたスマホに

困惑したり感心したりする様子に共感する方も多いのでは？

『老いてこそ、スマホ』

牧壮、増田由紀／主婦と生活社



多くの方が使っているスマホ。シニアに向けて、この年代ならではの悩みを解決するスマホ

の活用方法を、大きめの文字とイラストや写真で解説した1冊。

『スマホ脳の処方箋』

奥村歩／あさ出版



スマホ依存による、体調不良の弊害も指摘されている昨今。自分がスマホ依存かをチェックできるリストと、起こるスマホ

脳への対処法を紹介した1冊。

おはなし会を開催します

～ 読み聞かせボランティアの皆さんが、楽しいお話をしてくれます～

- 【野田川分室】 3月22日（土） 午前10時30分～
- 【本館】 4月5日（土） 午前10時30分～
- 【加悦分室】 4月12日（土） 午前10時30分～



- 問い合わせ先／与謝野町立図書館 ☎ 46-2451 加悦分室 ☎ 43-0376 野田川分室 ☎ 43-0087
- 開館時間／午前10時～午後6時 ● 休館日／毎週月曜（本館・加悦分室）、毎週火曜（野田川分室）、毎月最終木曜（共通）



がんばってます！消防団

編集 ● 第9分団

消防団員が身近な存在になるように

令和6年12月18日、加悦小学校で「消防団活動を知ろう！」と題して出前講座^{※1}を行いました。3年生39人に、現役で活動する消防団員2人から「火事を防ぐためにしていること」「車両の種類や火事を消すための道具」について説明しました。



加悦小学校3年生との集合写真

地域防災の要「消防団」

第1部では、消防団の身分や組織体制、消防団が行っている各種活動、使用している車両と道具、実際の火災現場の状況などについて画像を使いながら説明。特に、消防団の活動については、火事を消すだけでなく普段からさまざまな活動（防火広報・防火訪問・機関点検・火災想定訓練・消防防災フェア・出初式など）を行っていることや、火災以外にも行方不明者の捜索など、活動が多岐にわたることを知ってもらいました。

車両や機材に目を輝かせる児童たち

第2部では、加悦小学校の近くにある第9分団の車庫に移動し、実際に使用している車両を見学。水槽付消防ポンプ自動車や小型動力ポンプ積載車、司令車、車両に装備している道具について説明した後、実際に車両に乗車して



水槽付消防ポンプ自動車を見学する児童たち



画像を見せながら児童たちに説明する消防団員

消防団の雰囲気も体験してもらいました。普段、車両に乗る機会がない小学生たちは、笑顔いっぱい楽しんでいました。

後日、学校から届いた子どもたちの感想文には、「普段の仕事もあるのに、火事やいろんな活動に参加している大変さを知った」「あいさつが敬礼というのを知った」「消防団活動に興味を持ったので、大人になったら消防団員になりたいと思った」など、うれしい言葉が綴られていました。子どもたちにとって、この経験が将来にいかされることを切に願います。また、消防団員を身近な存在として感じてくれ、未来の消防団員になってくれることも期待しています。

（※1）出前講座

町民の皆さんがこんなことが知りたい、聞きたい、学びたい」といったことについて、町職員（消防団は非常勤特別職の地方公務員）を講師として派遣する講座です。職員が日ごろ行っているさまざまな仕事の内容や、専門知識を町民の皆さんにお届けし、町民の皆さんと行政とのパートナーシップを築くことを目的としています。年齢などを問わず、少人数でも開催可能です。ご希望がございましたら、ぜひご利用ください。担当エリアの消防団員、または町職員が参加し説明させていただきます。

消防団機管理対策室 ☎ 43-9011



移住希望者に寄り添うアンバサダーを認定

与謝野町移住・定住アンバサダー設置事業

企画財政課 ☎ 43-9015



山添町長からアンバサダー認定証の交付を受ける若井さん(左)

令和6年度(1月末現在)に、「与謝野町移住・定住アンバサダー(以下、アンバサダー)」として認定した方を紹介します。この取り組みは、与謝野町への移住・定住の促進を図るため、移住を希望する方への情報提供や相談、移住者の生活サポートなどを担っていた方をアンバサダーとして認定するものです。

町内の空き家を購入し、2拠点生活を送る若井一実さん(岩屋)は「与謝野町の魅力は、豊かな自然と人の温かさ。アンバサダーとして移住を希望する方と町の活性化の架け橋となり、双方にとってよい提案ができたらと思っています」と、移住者ならではの視点で抱負を話してくれました。



アンバサダーとしての抱負を話す香山さん(右)

また、会社・個人としてアンバサダーに認定した香山塗装工業株式会社(本社/三河内)の香山祐樹さん(三河内)は「生まれ育った与謝野町を未来につなげていくことは使命そのもの。会社としても地域の活性化に寄与していきたい」と、力強く抱負を話してくれました。



20年後の公共サービスと公共施設を考える

与謝野町公共施設等マネジメント推進委員会

企画財政課 ☎ 43-9015



山添町長から委嘱状の交付を受ける委員(右)

与謝野町の公共施設などの総合的かつ計画的な管理を推進し、その最適化を図るため、令和6年度第1回目となる「与謝野町公共施設等マネジメント推進委員会」を、令和6年12月26日に岩滝保健センターにおいて開催しました。

今年度から有識者を中心とした委員構成に見直すとともに、毎回、山添町長が出席するよう会議の実施方法を変更。会議

委員の皆さん

※敬称略(○内は所属)

●委員長

川勝 健志 (京都府立大学公共政策学部 教授)

●副委員長

佐々木 和代 (与謝野町教育委員会 委員)

●委員

青山 公三 (京都府立大学 名誉教授)

坂中 綾香 (よさの地域デザイン会議 元委員)

杉岡 秀紀 (福知山公立大学地域経営学部 准教授)

西川 明宏 (与謝野町行政改革推進委員会 会長代理)

山添町長から委嘱状の交付を受ける委員(右)



【答申】持続可能な行政運営をめざして

与謝野町行政改革推進委員会

企画財政課 ☎ 43-9015



山添町長に答申書を手渡した委員会委員の皆さん(左から山添町長、伊藤会長(画面内)、西川会長代理、山添会長代理、佐賀委員)

1月29日、岩滝保健センターにおいて、与謝野町行政改革推進委員会(以下、委員会)の伊藤伸会長、西川明宏会長代理、山添謙三会長代理、佐賀利裕委員から山添町長に対し、「令和5年度与謝野町行政経営マネジメントに関する答申」が行なわれました。

本答申は、令和4年7月に山添町長から諮問機関である委員会に対し、「第3次与謝野町行政改革大綱実施計画の進捗」「事務事業評価」「与謝野町行政経営マネジメントの推進全般」の3つの項目について意見を求め、令和5年度の各取り組みについて、4回の委員会を経てまとめられたものです。

本答申を受け取った後、委員会委員と理事者・役場管理職員で、事務事業評価などの取り組みについて意見交換を行ないました。今後は本答申を受け、行政改革の進捗状況をしっかりと評価し、その内容を町民の皆さんにお知らせしていきます。

本答申の内容や委員会の協議経過は、企画財政課または町ホームページでご覧いただけます。



町ホームページ



【答申】多様性を尊重し合う共生社会づくりに向けて

与謝野町多様性を尊重し合う共生社会づくり検討委員会

住民税務課 ☎ 43-9020



山添町長に答申書を手渡した渋谷委員(中央)と足立副委員長(右)

2月14日、役場加悦庁舎において、与謝野町多様性を尊重し合う共生社会づくり検討委員会(以下、委員会)の渋谷節子委員長と足立英子副委員長から山添町長に対し、「多様性を尊重し合う共生社会づくりの推進に関する答申」が行われました。

本答申は、令和5年10月27日に山添町長から諮問機関である委員会に「多様性を尊重し合う共生社会づくりを推進する

ための基本的な考え方および取り組み」について意見を求め、6回の審議を経てまとめられたものです。

答申を受けた山添町長は「答申書の自身や議事録の内容を精査し、この考え方を町の施策に定着させていきたい」と述べました。本町としましては、年齢や性別、国籍、障害の有無などの違いによらず、すべての住民の皆さんが安心して暮らせる共生社会の実現にむけた取り組みをさらに深めていきます。

本答申の内容や委員会の協議経過は、住民税務課または町ホームページでご覧いただけます。



町ホームページ

丹海バス路線が再編されます

令和7年4月1日ダイヤ改正

☎ 企画財政課 ☎ 43-9015



バス停を出発する丹海バス

丹後海陸交通株式会社が運行している「丹海バス路線」のうち、峰山線・福知山線・峰山四辻線の3路線が、令和7年4月1日付けのダイヤ改正に伴い再編されます。福知山線と峰山四辻線は廃止となり、峰山線は宮津天橋高校加悦谷学舎前から峰山駅までの区間に延伸となります。

福知山線と峰山四辻線は廃止

路線再編説明会を開催

与謝野町と丹後海陸交通株式会社では、次のとおり説明会を開催します。なお、路線再編の内容は、3月13日から配布予定の「第30版与謝野町公共交通時刻表」でもご確認いただけます。

日時 3月24日(月)
午後2時半～3時半
午後7時半～8時半
会場 元気館 視聴覚室
その他 申込不要

公共交通時刻表の配布

京都丹後鉄道(3月15日)と丹海バス(4月1日)のダイヤ改正に伴い、与謝野町が発行している「公共交通時刻表」が新しくなります。各戸配布は行わず、次の場所で配布します。

配布開始日(予定) 3月13日(木)
配布場所 役場各庁舎、与謝野駅、丹後海陸交通株式会社、観光協会、地区公民館(野田川地域)など



一人で悩みを抱え込まずに、誰かに相談を

3月は「自殺対策強化月間」

☎ 福祉課 ☎ 43-9021

厚生労働省では、毎年3月を「自殺対策強化月間」と定めています。何となく不安を感じていませんか？人に話すことで心が軽くなるかもしれません。匿名でも大丈夫です。電話でも、SNSでも相談できます。



厚生労働省ホームページ

- 相談窓口
- 京都府自殺ストップセンター (年中無休/24時間) ☎ 0570-783-797
- 京都いのちの電話 (年中無休/24時間) ☎ 075-864-4343
- 京都自死・自殺相談センター (金・土曜日/午後7時～午前1時) ☎ 075-365-1616
- よりそいホットライン (年中無休/24時間) ☎ 0120-279-338
- 相談窓口(子ども向け)
- 24時間子供SOSダイヤル (年中無休/24時間) ☎ 0120-078310
- チャイルドライン (毎日午後4時～午後9時) ☎ 0120-99-7777

あなたの勇気が大切な命を守ります

～ 虐待を「見たとき」「聞いたとき」は通報を～

児童・高齢者・障害者の虐待に気づいた方には通報義務があります。虐待を見たら、聞いたら「よさの虐待ほっとライン(☎ 43-9033)」へ。

※ 休日・夜間は転送となるため、応答にお時間をいただきます



3/22(土)

AM 10:00 ~ PM 3:00

バスまるごと体験フェア



会場 野田川わーくぱる

※ 京都丹後鉄道「与謝野駅」から会場までシャトルバスの運行があります

同日開催!!



バス運転体験会 【40人限定】午前9時30分から整理券を配布

バス教習車の運転体験をしてみませんか? ※ 要普通自動車免許

バスクイズ大会 午後2時15分～

クイズに全問正解した方のうち10人にオリジナルグッズをプレゼント!

子ども体験コーナー

ぬり絵、きっぱづくりなど楽しい工作コーナー



キッチンカーも出店!

よさの乗合交通乗車体験会

乗合交通の車両展示やスマホ教室(アプリのインストール、利用方法など)を予定

● 主催・問い合わせ先

京都府北部地域連携都市圏公共交通活性化協議会(事務局:宮津市役所企画課内) ☎ 45-1664



イベントページ(宮津市ホームページ)



～ 令和6年度京都広報賞(映像の部)～

最高賞の知事賞を初受賞!

☎ 総務課(CATV担当) ☎ 43-9028

令和6年度京都広報賞(京都府広報協議会・京都府主催)の発表があり、有線テレビ制作番組「シリーズ災害～台風23号から今年で20年～」が、映像の部(自主制作の部)において最高賞にあたる知事賞を初受賞しました。

同番組は、改めて町民の皆さんに災害について考える機会として、平成16年10月に発生した台風23号による被害を、当時の写真や映像を使い制作したドキュメンタリー。審査員からは「いかにこのときの災害が大変だったのかがわかる。地元のCATV局としての使命感とスタッフの強い思いを感じ取れる番組」との評価をいただきました。これからも町政情報やまちの話題をお届けするとともに、啓発などの番組づくりに努めてまいります。



制作番組「シリーズ災害」は町公式YouTubeチャンネルからご覧いただけます。



与謝野町役場 本庁舎

総務課/財産活用・契約室
☎ 43-9010
産業観光課
☎ 43-9012
会計課
☎ 43-9013
建設課
☎ 43-9014
企画財政課
☎ 43-9015

加悦庁舎

住民税務課
☎ 43-9020
福祉課
☎ 43-9021
保健課
☎ 43-9022
農林環境課/地球温暖化対策室
☎ 43-9023
子育て応援課
☎ 43-9024
教育委員会 学校教育課
☎ 43-9025
教育委員会 社会教育課
☎ 43-9026
議会事務局
☎ 43-9027
総務課 (CATV 担当)
☎ 43-9028

野田川庁舎

総務課 (防災危機管理対策室)
☎ 43-9011
上下水道課
☎ 43-9031

まちのうごき

令和7年1月末現在

人口 19,367人 (-33)
男 9,289人 (-17)
女 10,078人 (-16)
世帯数 8,859戸 (-6)

※ () 内は住民基本台帳に基づく前月比
※ 外国人を含む

内 転入 27人
転出 35人
出生 8人
死亡 33人
その他 0人

【企業版ふるさと納税】
御寄附をいただきました
☎ 企画財政課 ☎ 43-9015

令和6年12月以降に、企業版ふるさと納税の御寄附をいただいた企業様を紹介します。

※ 企業名、寄附額、寄附対象事業名は、ご了承いただいた企業様のみを公表しています

Table with 2 columns: 企業名, 寄附額 (対象事業). Rows include 株式会社 東邦レオホールディングス 様 (大阪市) and 株式会社 日匠設計 様 (福知山市).

企業版ふるさと納税の詳細や実績などは、町ホームページからご覧いただけます。



届いていますか? 「広報よさの」 ☎ 総務課 ☎ 43-9010
ご事情により広報紙が届かない世帯や事業者さんには、役場から直接お届けしています。詳しくは、総務課までお問い合わせください。

人事異動のお知らせ (1月31日付け) <退職> 永井 大地 (総務課 主査)

与謝野町公式 WEB サイト & SNS. Includes QR codes for ホームページ, LINE, Instagram, Facebook, X (旧 twitter), Youtube, and 番組ガイド.

お悔やみ (敬称略) 町内に配布している広報誌には掲載しています. おめでとうございます (敬称略) 町内に配布している広報誌には掲載しています.

※ この欄で紹介する出生とお悔やみは、1月16日から2月15日までの届け出です。また、役場窓口で届け出の際に希望された方のみを掲載しています。

国民健康保険へのお届けをお忘れなく
就学により与謝野町を転出する方へ ☎ 保健課 ☎ 43-9022

就学が修了する方へ
現在、就学により転出している与謝野町国保に加入の方で、就職などにより学生でなくなる方は、国保の喪失手続きが必要です。

空家の適正管理をお願いします
☎ 空家総合相談窓口 (総務課内) ☎ 43-9010

空家は所有者や管理者の責任において、適切に管理していただくものです。 「空家等対策の推進に関する特別措置法」では、所有者や管理者は周辺の生活環境に悪影響を及ぼさないよう、空家などの適切な管理に務めなければなりませんと定められています。



祝日のごみ収集（3月）

3月20日（木）は祝日（春分の日）のため、ごみ収集は行いません。お間違えのないようお願いいたします。

☎ 農林環境課 ☎43・9023

【小・中学校】令和7年度会計年度任用職員の登録募集

子どもとかかわる仕事に興味のある方をお待ちしています。教育委員会・与謝野町宮津市中学校組合教育委員会では、町内小・中学校において非常勤で補助的な業務を行う会計年度任用職員について、年度ごとの登録制としています。令和7年度の登録を希望する方は、次のとおり申し込みください。

登録職種／仕事内容

- 特別支援員（教員免許状あり・なし）／支援が必要な児童・生徒の指導補助
- 一般作業員／学校の維持および管理に関する作業（学校内の清掃、草刈り、簡単な修繕、給食の配膳など）

● スクールバス運転手（中型以上の運転免許要）／マイクロバスによる登下校・校外学習・部活動など

【旧与謝小学校】第2回サウンディング型市場調査の実施

与謝野町では、旧与謝小学校の有効活用に向けて、第2回サウンディング型市場調査を実施します。詳しくは、町ホームページをご覧ください。



町ホームページ

☎ 財産活用・契約室（総務課内）
☎43・9010

第11回与謝野弦楽合奏団演奏会と弦楽体験講座の開催（入場無料）

日時 3月23日（日）
午後1時半開場、午後2時開演
会場 加悦地域公民館
その他 ヴァイオリン体験講座も行ないます。楽器なしで参加でき、申し込みも不要です。

☎ 与謝野弦楽合奏団 森垣
☎090・1580・3789

自衛官等の募集

《自衛官候補生》
年齢資格 18歳以上33歳未満の方
受付期間 常時受け付け
※ 詳細は地域事務所にお問い合わせください

☎ 0772・64・2498
☎ 京丹後地域事務所

どの送迎報酬等

【報酬単価】月額または時間給とし、職種によって条例および規則で定める金額

【期末・勤勉手当】社会保険加入者に対し、条例および規則で定める金額

【通勤手当】距離などに応じて条例で定める基準により支給

※ 勤務時間、休憩時間、休暇その他の勤務条件は、町が別に定める条例・規則に準じます

社会保険等 勤務時間・任用期間などに応じて法令に基づき、健康保険・厚生年金保険・雇用保険の加入要件を満たす場合に加入

登録方法 教育委員会や総務課で配布、または町ホームページでダウンロードした申込書兼履歴書に必要事項を記入の上、教育委員会まで提出してください。資格が必要な職種は資格証明書の写しを添付ください。なお、提出書類は返却しません。

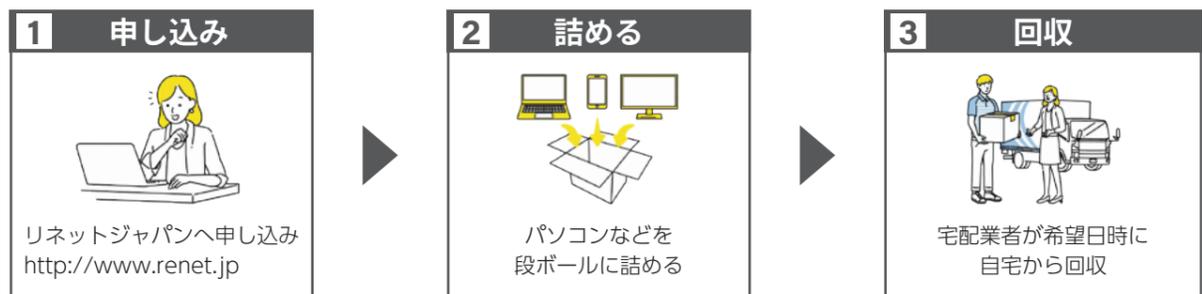
有効期限 受付時点より令和8年3月31日

その他 この申し込みによって、任用を保障するものではありませんのでご注意ください。

☎ 学校教育課 ☎43・9025

● パソコンなどの小型家電を無料で回収
不用になったパソコンなどのリサイクルを推進しています

与謝野町では、国の認定事業者である「リネットジャパンリサイクル株式会社」と協定を締結し、宅配便によるパソコンを含む使用済み小型家電の回収（最短翌日・希望日時）を実施しています。なお、利用方法は以下のとおりです。



- パソコンを含む1箱分の回収料金とリサイクル料金が無料です
- 古くても、故障していても「どんなパソコン」でも回収可能です
- パソコンと一緒に、プリンタなどの周辺機器も一緒に回収可能です

☎・☎ リネットジャパンリサイクル株式会社 ☎0570-085-800（午前10時～午後5時）



検索 リネットジャパン

HPVワクチン「キャッチアップ接種」の期間延長

令和4年4月1日から7年3月31日までに「HPVワクチン」を1回以上接種した方について、8年3月31日まで残りの接種を公費で受けられるようになりました。接種が完了していない方は、ご確認ください。

対象者 平成9年4月2日～21年4月1日生まれの女子

実施医療機関 与謝野町が指定する医療機関

☎ 保健課 ☎43・9022

令和7年度与謝野町文化協会 視察研修事業の参加者募集

日時 5月24日（土）午前7時半～午後7時（予定）
事業名 歴史ドラマの舞台を巡る旅2025
行き先 岐阜県・滋賀県

【行程】 役場各庁舎↓関ヶ原古戦場・関ヶ原古戦場記念館・昼食・陣跡巡り↓長浜城↓黒壁スクエア ↓役場各庁舎
募集対象者
● 文化協会員／20人
● 町民の方（高校生以上）／20人

※ 希望者が定員を超えた場合は

【広告枠】

私たちと一緒に働きませんか。業界未経験者の方やUターンの方も大歓迎!!

◆配達業務.....1名（～44歳まで）※長期キャリア形成の為
【業務内容】組合員企業への材料（鋼材、特殊鋼）、工具等の配達業務、設備等の営業販売

◆材料切断作業、倉庫内管理業務...1名（～44歳まで）※長期キャリア形成の為
【業務内容】①組合員への材料切断作業（鋼材・特殊鋼）
②材料（鋼材・特殊鋼）受発注業務（ハローワーク届出済）

お問い合わせはこちらまでお気軽にどうぞ。詳しくは、QRコードにてご確認ください。下記までお問い合わせ下さい。
丹後機械工業協同組合 TEL(0772)62-0263 FAX(0772)62-6176

●正しい不動産の取引 ●宅地・建物・賃貸借問題など
不動産無料相談
北部不動産無料相談所
綾部駅前通23（京都銀行西となり）JR綾部駅前から徒歩2分
相談日:毎月第1・第3日曜日 相談時間:午後1時～3時30分
☎0773-40-2535(予約制)

今月の納期
3月31日（月）まで
国民健康保険税：第10期
介護保険料：第10期
後期高齢者医療保険料：第9期
滞納税相談窓口
京都地方税機構 丹後地方事務所
京丹后市役所 大宮庁舎 3階
☎ 0772-68-1041

文化協会では抽選を行ないます
費用 3500円
（昼食代、入館料、ガイド料、保険料など ※当日徴収）
☎ 4月16日（水）までに、加悦地域公民館・知遊館・中央公民館にある参加申込書に必要事項をご記入の上、いずれかの公民館へ。
☎ 社会教育課 ☎43・9026

与謝野町誕生から 19年目を迎えました

平成18年3月1日に加悦町・岩滝町・野田川町が合併して誕生した「与謝野町」は、今年で19年目を迎えました。本町では、令和8年3月1日の「合併20周年」に向けて、令和7年度をターゲットイヤーとして、フィナーレの「与謝野町合併20周年記念式典（仮称）」まで、まちの魅力や取り組みを体感できる各種事業を実施して行く予定です。

☎ 総務課 ☎ 43-9010

「わたしの与謝野」写真を 広報紙に掲載しませんか？

投稿のハッシュタグは
「#わたしの与謝野」

合併20周年に向けて、皆さんが撮影した「わたしの与謝野」写真を募集します。お寄せいただいた写真は、次号の広報紙から特設コーナーで紹介していきます。詳しくは町ホームページをご覧ください。



町ホームページ

19年間の主な出来事

- 2006.03 | 与謝野町誕生
- 2009.03 | 町営バス「ひまわり」運行開始
- 2010.04 | 岩滝・野田川地域で有線テレビ運用開始
- 2011.12 | 「まめっこまいちゃん」が町のゆるキャラに決定
- 2013.03 | 阿蘇シーサイドパーク竣工
- 2013.08 | 与謝野ひまわりフェスティバル初開催
- 2014.04 | クアハウス岩滝、入館者300万人突破
- 2016.03 | 岩屋小学校を市場小学校へ統合
- 2016.04 | 幼保連携型認定こども園「かえでこども園」開園
- 2017.07 | よさのみらい大学開校
- 2017.10 | 加悦中学校改築事業竣工式
- 2019.10 | 宮津与謝病児保育所「リリふる」開設
- 2020.04 | 新生「加悦小学校」開校
- 2020.07 | 広域ごみ処理施設「宮津与謝クリーンセンター」竣工式
- 2021.03 | GIGAスクール構想に基づき、児童生徒1人1台タブレット型端末を配備
- 2021.12 | 幼保連携型認定こども園「つばきこども園」開園
- 2023.11 | 英国ウェールズ・アベリスツイスと友好協定を締結

Memorial Photo — 写真で振り返る和謝野町 —



①



②



③



⑥



⑦



④



⑤



⑧



⑨



⑩

- ① 与謝野町開町式のテープカット (2006年)
- ② 合併1周年記念事業 (2007年)
- ③ 与謝野町有線テレビ拡張事業完了 (2010年)
- ④ 合併5周年事業「岩滝大名行列」開催 (2011年)
- ⑤ ロンドンオリンピック出場の木崎良子さんのパブリックビューイング (2012年)
- ⑥ 糸井嘉男さんの野球教室 (2014年)
- ⑦ 第26回全国樺サミット与謝野大会のオープニング (2016年)
- ⑧ 「第1回農業IoTアワード」で最優秀地方自治体賞を受賞 (2017年)
- ⑨ 旧加悦町役場庁舎「令和の大修理」完了 (2020年)
- ⑩ 旧尾藤家住宅が国重要文化財に指定 (2024年)